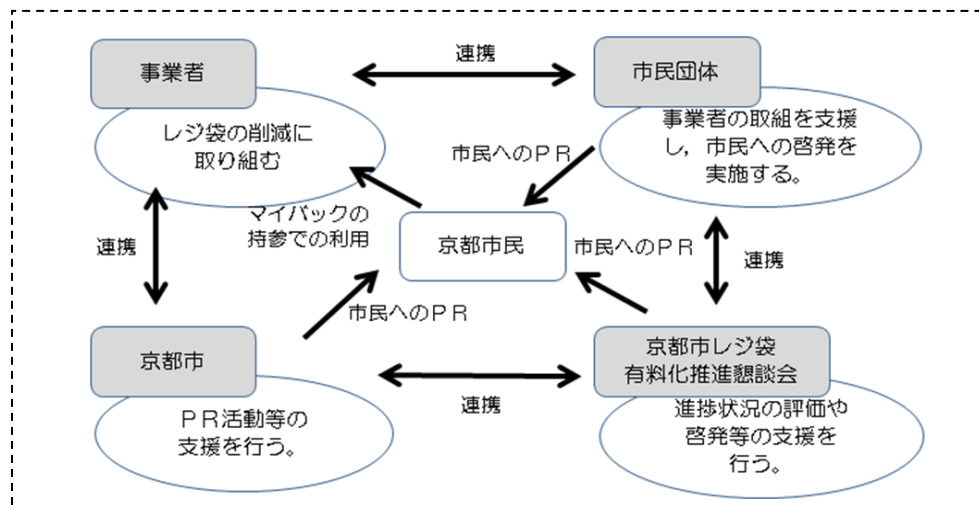


本市における容器包装の削減に関する主な取組

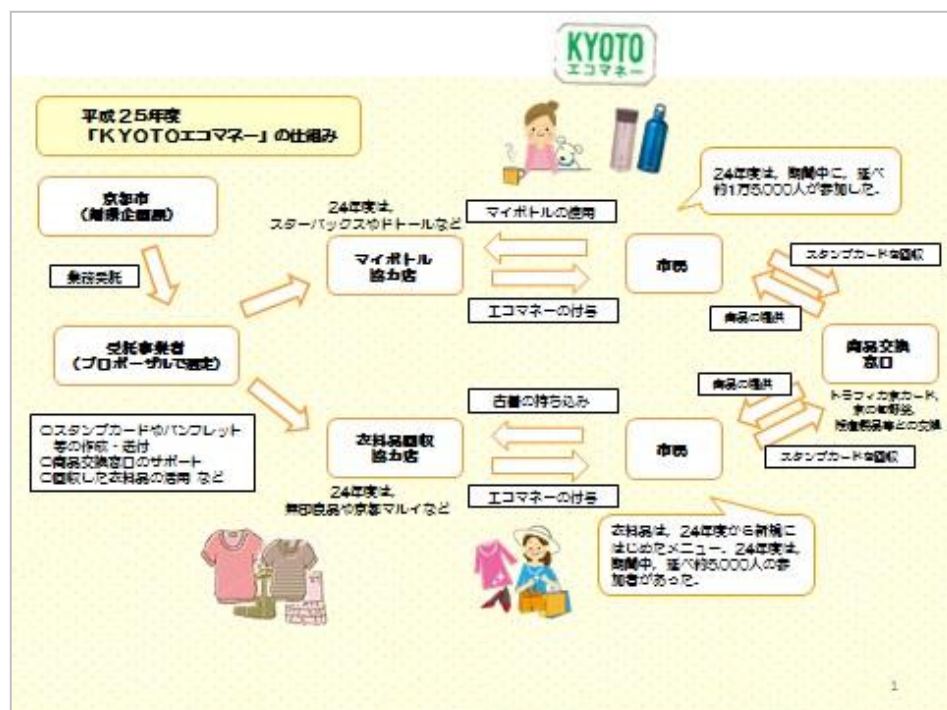
1 レジ袋削減に向けた取組

- 平成19年1月、事業者、市民団体、京都市レジ袋有料化推進懇談会及び京都市との四者で「マイバッグ等の持参促進及びレジ袋の削減等に関する協定」を締結し、レジ袋の削減を進めている。
- 第1回協定締結から6年余りを経て、当初3事業者16店舗1商店街であった協定参加者は、16事業者81店舗3商店街に広がり、その取組を支援する市民団体の数も13団体となった。協定締結により、京都市内におけるレジ袋削減・マイバッグ持参に関する取組の輪が広がっている。



2 KYOTOエコマネー

市民一人ひとりのごみ減量に対する関心を高め、使い捨てが当たり前の生活から「ものを大切にする」ライフスタイルへの転換を図るため、「ごみを減らす行動」とすると、「エコマネー」(ポイント)を得られる仕組み「KYOTOエコマネー」を、平成23年8月に創設し、新たなごみ減量モデルを京都から発信している。



3 ようきにへらそうキャンペーン

食品スーパーが販売時に用いる食品トレーなどの容器包装の削減を目的とし、地域と一体となって、容器の持参による購入・販売，ロール袋の使用取りやめ，簡易なトレー等への切替えなどを推進する取組「ようきにへらそう！キャンペーン」を京都市ごみ減量推進会議の主催で実施している。平成24年度は，東山区のスーパー2店舗で実施した（平成25年3月8日～3月27日）。



4 イベント等のエコ化の推進

- ・ イベントの開催に伴う環境負荷の低減と，イベントに関わる全ての人に対する環境保全意識の啓発を図ることにより，市内で開催されるすべてのイベントで「エコ化」に取り組む風土を醸成することを目指している。
- ・ イベントのエコ化を推進するためには，イベント主催者がごみの分別や公共交通機関による来場者の促進などのエコ化の取組を積極的に実践する必要があることから「京都市認定エコイベント」への登録制度やリユース食器利用促進助成制度を実施している。

※ 「京都市認定エコイベント」登録制度

京都市認定エコイベントに登録すると，エコレベルを示した「エコイベントマーク」をポスターやチラシ，イベント会場でのアピールに使うことができる。

エコレベルは，登録申請書の裏面に掲げるエコ化の取組の項目数に応じて決まる。

エコレベルと取組項目数

エコレベル1…取組項目数	5個
エコレベル2…取組項目数	6～9個
エコレベル3…取組項目数	10～14個
エコレベル4…取組項目数	15～19個
エコレベル5…取組項目数	20個以上

